

一般社団法人 日本建築医学協会 設立趣旨

一般社団法人 日本建築医学協会 理事長 松永修岳

年々増加し続けている生活習慣病。その大きな原因が、住環境や職場環境から来る様々な環境ストレスであることが明らかになりつつあります。それゆえ私たちは「住環境・職場環境を改善することを通して積極的に病気を予防する」このテーマに取り組む代替医学・代替医療として「建築医学」を提唱します。

建築学、住居学、医学および環境工学の専門家が持つ知見の融合・共同研究により、環境と生体との相互作用と有機的な繋がりを解き明かし、住環境の改善に必要なデータの収集および情報提供を行います。さらに「住空間・職場空間を心身が癒される場とする治療体系の構築」とその啓蒙普及を目指して、日本建築医学協会は設立されました。

この建築医学が代替医学・代替医療の一部門として成長し、建築医学を駆使した住宅やビルなどが実際に建築されることを通じて「一人一人の脳が活性化し、創造性が高まり、生きることの意義や目的を見出していくこと（QOLの向上）に繋がっていく」と当協会は考えています。

誰でも豊かに健康になれる住環境 特別大講演会 講演内容 講師紹介

■ 14:30～ 開会挨拶 (社) 日本建築医学協会 理事長 松永修岳

■ 14:35～15:20

「トータルヘルス研究における建築医学研究の過去・現在・未来 その2」



落合 正浩 先生

トータルヘルス研究所 所長
公衆衛生医師

- (講演内容概要)
- ・建築医学研究も包括しておこなうトータルヘルス研究とは？
 - ・医師として最初に触れた建築医学関連情報とは？
 - ・元気生活をおくる上で重視すべきからだの部位と建築医学的要素との関係
 - ・建築医学を活用したトータルヘルス住宅1の建築と居住の体験
 - ・職域での建築医学的取り組みなどの報告

Profile

三重大学医学部卒業後、産婦人科に入局し臨床経験を積む。その後、三重大学医学部助手として海外留学・視察などを通して統合医学の研究を行なった。その後は、脳力開発型のメンタルヘルス研究をベースにトータルヘルス研究に着手し、県立病院や地方自治体、全国規模の上場企業の産業医、こころの定期健診、メンタルヘルス研修などの多様な公衆衛生活動に取り組んでいる。

■ 15:20～16:05

「幸せを呼ぶ色の使い方、活かし方」



飯田 暢子 先生

色彩コンサルタント
色彩デザイナー

色彩の効果は想像をはるかに超える。「なりたい自分」になるための色がある。選んだ色があなた自身に表れる。自分の中の未知の能力を引き出すチャンスカラーを活用すれば、自分の能力が高まり、ビジネスを成功させることも可能になる。あなたの選んだ色で驚くほど未来が変わる。



Profile

女子美術大学短期大学部卒業。1985年米国でカラー&イメージコンサルタントのライセンス取得後、1988年株式会社フラックスを設立し30周年を迎えた。子育てと仕事を両立させながら「アドラー心理学」をはじめ数々の心理学を学ぶ。1992年1万人以上の臨床的実証データから色彩と心理学をかけあわせた独自の臨床色彩心理療法『キュービック・カラーセラピー』を考案。

■ 16:20～17:05

「アルツハイマー病は脳の糖尿病」



鬼頭 昭三 先生

広島大学名誉教授
医学博士

認知症はすでに「国民病」であり、きわめて深刻な問題。糖尿病の人はそうでない人に比べて、2.5倍から3倍アルツハイマーにかかりやすい。65歳以上の7人に1人は認知症であり、予備軍を含めるとその数は65歳以上の4人に1人。どのようにしたら認知症を予防できるのか。記憶物質「脳内インスリン」が鍵だった。



Profile

1927年生まれ。広島大学名誉教授。医学博士。専門は基礎神経科学。東京大学医学部卒業後、米国イリノイ大学神経精神研究所留学、東京大学大学院修了。広島大学医学部内科学第三講座教授、昭和女子大学教授などを歴任、現在も湘南ホスピタルの現役医師（内科）。北米神経科学会名誉会員。2009年、瑞宝小綬章受章。

■ 17:05～17:50

「脳の仕組みを知れば、住まいは変わる」



松永 修岳 先生

一般社団法人
日本建築医学協会 理事長

勉強のできない子供の家は、家全体が散らかり片づけられていない。その状況は、ストレスホルモン「コルチゾール」を分泌させ、脳の前頭前皮質と海馬を壊していく。住まい環境が脳をつくっていく、それが性格となり、人生となっていくことを人は学ぶ必要がある。脳は環境の情報を勝手に読み取り、個人をつくっていく。脳の仕組みを知れば住まいは変わる。

Profile

経営戦略コンサルタント。『運と風水』の専門家。伝承医学の叡智と環境生理学、環境心理学、大脳生理学の最新の研究データを融合させた新しい代替医療としての『建築医学』を提唱。修験道空海密教の行脚大阿闍梨でもある。株式会社エンライトメントハート・コーポレーション会長、ラックマネジメント・フォーラム代表、(社)国際風水科学協会理事長を務める。



■ 18:00～19:30 懇親会

建築医学とは、環境情報学である

私たちは、周囲の環境から五感を通じて色々な情報を取り入れています。そして、それらの情報に基づき、様々な意思決定をしています。どのような環境に身をおくかによって、自分自身の脳に入る情報が変わり、心や脳の状態も変わってきます。どのような自宅で生活しているのか、どのようなオフィスで働いているのかはとても大切です。環境が思考を形成し、思考が行動(習慣)を作ります。建築医学では、色、形、素材、レイアウト、立地など建物に関するあらゆる要素を考慮します。建築医学は、環境を整えることにより、身体のみならず、精神の健康、そして経済の健康をも実現することを目指しています。

日本建築医学協会 賛同者(医学関係者)

- 落合 広子 / タカオクリニック 院長 / 三重県津市
- 向後 利昭 / 八街こどもクリニック 院長 / 千葉県八街市
- 崎谷 博征 / みどりの杜あんしんクリニック 院長 / 熊本県宇城市
- 佐藤 良子 / ディカルサロン北参道ビーンズクリニック 院長 / 東京都渋谷区
- 龍瀧 絢一 / 白旗なのはなクリニック 院長 / 神奈川県藤沢市
- 谷 俊子 / 東海大学 助教授 / 神奈川県平塚市
- 富 仁司 / 富齒科医院 院長 / 愛知県知多郡

- 西元 久晴 / 医療法人晴和会 西元眼科医院 院長 / 宮崎県都城
- 野上 和加博 / 医療法人 和楽会 理事長 / 岡山県倉敷市
- 船戸 崇史 / 船戸クリニック 院長 / 岐阜県養老郡
- 松村 浩道 / 松村クリニック 院長 / 東京都世田谷区
- 松原 充直 / 松原歯科クリニック 院長 / 岐阜県岐阜市
- 宮島 賢也 / 湯島清水坂クリニック 院長 / 文京区湯島
- 山田 武次 / 医療法人社団東山会 ビバ・スマイル歯科 院長 / 岐阜県大垣市
- 山本 敏広 / やまもと眼科 院長 / 岡山県倉敷市